

創立147周年

学校便り

令和5年度

No.2



進取

令和5年6月2日発行

阿久根市立阿久根小学校
27学級 児童数444人

やさしさと厳しさ

校長 中村 一成

朝、立哨指導をしていると、新1年生の保護者の方が遠くから心配そうに我が子を見守る姿、子供の二歩ほど後ろからついて登校する姿を目にします。また先日は、いつも新1年生といっしょに登校している保護者の方が、「今日からは信号まで見送り、ここからは一人で歩いて行かせます。徐々に一人で歩く距離を延ばしていきます。」と話してくださいました。朝の登校風景からも保護者の方の「やさしさと厳しさ」が伝わってきます。一緒に手を引いて歩いた方が安全ですし、時間もかからず効率的です。しかし「これからは一人で」という思いがあれば厳しさも必要です。いずれは、親元を離れ羽ばたいていく子供たちです。「やさしさと厳しさ」の両方を持って接していきたいものです。

学年が変わったこの時期に、それぞれの学年に応じて、「一人で起きる。」「1kmは歩いて登校させる。」など、子供自身に任せることをぜひ親子で話し合ってみてください。また、新しい目標を立ててスタートした新学期ですが、連休も明けそろそろ気持ちにゆるみが出てくる頃です。ぜひやさしさと厳しさを使い分けながら励ましの声かけをお願いいたします。

子供たちを取り巻く環境は大きく変化しています。人工知能（AI）等の先端技術があらゆる産業や社会生活に取り入れられ、社会が急激に変化を続けています。また突如として拡がった新型コロナウイルスのように、思いもよらない困難にぶつかることもあります。どのような時代であっても、子供たちが変化を前向きに受け止め、自分で考え判断し、たくましく生き抜いていく力を育成していくことが求められています。家庭と地域と連携しながら、今年1年子供たちの自立に向け、やさしさと厳しさをもって取り組んでまいります。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

語ろうか ネットの人より その場の人と

この標語は、本校の5年生の児童が家族といっしょに昨年の夏に考えた作品です。

昨年度の学校保健委員会のテーマである「情報機器との付き合い方」について、家族と考えるきっかけとするために、学校全体で夏休みに「情報通信の安心安全な利用のための標語」に取り組みました。この作品の他にも、阿久根小学校から40点ほど応募いたしました。その成果が認められ、全国1万7千点を超える作品の応募があった中から、阿久根小学校が「九州総合通信局長賞(学校部門)」に選出されました。

「情報通信の安心安全な利用のための標語」は、情報通信を安心・安全に利用するためのルールやマナー、情報セキュリティに関する意識や重要性に気付き、考えるきっかけとすることを目的に、平成20年度から毎年募集しているものです。今回の受賞作品は、広報・啓発ポスターへの掲載など周知啓発活動に広く利用されるそうです。

私たちの生活の中で、情報機器の活用は切り離せないものになっています。学校でもタブレット端末を活用した授業、高学年を中心にタブレット端末の家庭への持ち帰りも進めていきます。安心・安全に利用するためには、「ゲームやタブレットは9時以降は使わない。」「フィルタリングを必ず設定する。」など家族内のルールをしっかり決める必要があります。ぜひこの機会に家族で語り合ってください。